

二〇一八年一〇月一日(WEB句会参加者二名)

墨を擦る硯の海へ秋の水
やよい

秋水の豪雨の濁りかと思ふ
明日香

水澄みて真砂のをどる小川かな
はく子

飛石に靴跡かさね水の秋
なつき

さざなみの広がりて湖澄めりけり
こすもす

秋水をニ夕分けにして鯉の鱗
満天

澄む水に藻草ゆらめく疎水かな
やよい

幾橋を渡りふる里水の秋
菜々

木道の足裏にやさし水の秋
菜々

底砂を吹き上げて水澄めりけり
よし女

魚の影一直線に水の秋
三刀

秋水を神に供へて窯閉づる
よし女

浮御堂鏡映しに湖澄める
せいじ

堰落ちて白き泡揉む秋の川
なつき

みのる選